

行慶寺は寛永 18 年(1641)に建立されました

- 名称を「八幡山成就院行慶寺」といいます
- 宗旨は：浄土宗です。宗祖は：法然上人です
- 総本山は：京都・知恩院、大本山は：東京芝・増上寺
- 名号は：南無阿弥陀仏(なむあみだぶつ)とお称えします
- 開山は：称蓮社念譽慶伝上人(没時念譽上人通往大和尚)
- 住職は：第 33 世撰蓮社心譽得阿昌道(しょうどう)

お寺の運営に欠かせないのが「総代さん」です。総代さんの第一の役目は、阿弥陀さまの教えを守り、念仏の信仰を絶やすことなく、仏さまへの感謝と檀信徒相互の助け合いの大切さを伝えることです。

春と秋のお彼岸、お盆など家族で墓参し、ご先祖供養を勤めること、あるいは、5月の施餓鬼会や10月のお十夜法要のように、「有縁無縁」にかかわらない供養を心がけること。本堂には総代さんがお手本となって先頭にお焼香して頂くの良いでしょう。声を合わせての「お念仏」の音が、ご本堂に響きわたります。

＜現住職在任中の歴代総代の皆さま＞

- 田口 勇 様 (在任～H10. 2) 大智院慶譽真友居士
- 原 友明 様 (在任～H10. 2) 大慈院温譽心友居士
- 塩野 信治 様 (在任～H11. 11) 大光院修譽信道居士
- 馬野 光由 様 (H10. 2～H22. 5) 明浄院遍譽光徳居士
- 谷口 操 様 (H10. 2～H16. 9) 栄昌院顕譽實操居士
- 萩原 康右 様 (H12. 1～H28. 2) 大樹院浄意康雲居士
- 新井 健治 様 (H16. 9～H26. 3) 周晃院浄譽健道居士
- 前田 昭子 様 (H22. 5～H26. 9) (お元気です)

この間には本堂・庫裡の耐震工事、幼稚園の閉園と駐車場拡大、永代供養墓の新設等でお力を頂きました



[新緑のご本堂前庭]



[戦前の茅葺きのご本堂]

**行慶寺報 平成 30 年 6 月 15 日 晋山式準備号
住職を支える檀信徒役員の皆さん方を紹介します**

去る 5 月 1 日の施餓鬼会法要には皆さまにご参詣頂きありがとうございました。また「10 月に住職が退任」の発表に驚かれた方も多かったと思います。

副住職の前田崇史は、平成 14 年には浄土宗僧侶としての修行を終え今日までの 15 年、檀信徒の皆さんの信望も篤く、宗祖法然上人伝来の「法灯」を受け継ぐ準備を整えつつあります。〈住職心譽昌道〉

平成 10 年 5 月の晋山式(しんざんしき)で「小俣昌道住職」が誕生、爾後 20 年多くの総代様にお支え頂きました。平成 10 年以降の総代さんをご紹介致します。

なお、施餓鬼・十夜会の卒塔婆回向に当たっては、歴代上人に続いて、歴代総代様のご戒名(左下の表)を奉読し、各霊をお慰めいたしております。

悲しみの方を慰め、共に知恵を出し合い、阿弥陀さまの慈悲を頂く「お仲間」でありたいですね。

総代を支える世話人の皆さまをご紹介致します。檀信徒の中であって、皆さまをお世話下さる方が「世話人」です。現在 4 名の方がいらっしゃいます。

*馬野 光晴 様(再任)、品川区豊町在住。
戸越で 5 代目となります。

お父さまの兼春様には総代を勤めて頂きました。
趣味は、小品盆栽。

*竹楽 正明 様(新任)、目黒区目黒本町在住
昭和 62 年からのお檀家です。
2 年前に上大崎から目黒に転居です。
趣味は、映画・読書。



*前島 節子 様(新任)、杉並区西荻在住。
戦前に祖母が檀家となり、3 代目です。
趣味は、美術や音楽鑑賞。



*馬野 英明 様(新任)、川崎市宮前区在住。
戸越小卒業で、仕事場が豊町です。
趣味は、自宅でのオリジナル料理。

行慶寺では寺院規則で総代を 3 名と定め、任期は 4 年。内 1 名は責任役員となります

筆頭総代：瀬戸 義昭 様

品川区中延在住。お寺の建具の整備などでお役に立てればと思っています。
趣味は「釣り」です。



総代：藤村 芳子 様

三鷹市在住。子供の頃から母親と行事に参詣していました。現在はお施餓鬼やお十夜でのお茶会でご奉仕させて頂いています。



総代：櫻井 興司 様

品川区戸越在住、戸越生まれの戸越育ちです。地元を愛し行慶寺を愛しております。



[歴代世話人の皆さまです] 総代との重複を除く
小林 茂雄 様、松本 傳 様、前田 辰雄 様
武士 和子 様、吉田 和枝 様

念仏の教え尊とし 法灯の
ありがたし ありがたく
先代昌雄上人は戦争で焼失した本堂を再建し、檀信徒の教化に邁進、また幼児教育を興し、ルンビニで幼子を慈しみ、育てました。五十年余の奮闘があればこそ、今日の行慶寺なのです。
眞蓮社説聞和尚、実蓮社眞慶老和尚、先代の法蓮社昌雄大和尚と法灯は脈々と受け継がれていきます。
合掌

